

芸 術

「音楽Ⅰ」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	海洋科学科 第1学年ABC組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 音楽に対する興味・関心を深め意欲的に音楽活動に取り組む態度を身に付けます。</p> <p>2 音楽的な感性・技能を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。</p> <p>3 音楽の幅広い活動を通して生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てます。</p>
使用教科書・副教材等	教育芸術社 Mousa 1

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学習内容	月	学習のねらい	備 考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)
第 1 学 期	歌唱 宮崎海洋高校校歌	4	歌唱のための技能を身に付け、美しく音楽表現をしながら、校歌をしっかりと覚えます。	<p>・学期初めにファイルを作成し、毎回授業の反省・感想・質問などを記入し提出します。</p> <p>自己確認や計画的な学習に生かすことができます。</p> <p>・CDを使って鑑賞します。</p>
	歌唱 様々な音楽表現を楽しむ 教材「ありがとう」	5	歌うことの楽しさを、身に付け、発声の基本的な奏法、声の支え、レガート唱等を学習します。	
	「花」 「少年時代」など	6		
	鑑賞 交響曲を聞こう 教材 交響曲第40番ト短調 交響曲第9番ホ短調 「新世界より」など 【課題・提出物等】	7	音楽を形づくっている要素の働きと曲想とのかかわりを感じ取り取りながら、鑑賞します。 ・作曲家固有の音楽の様式や交響曲の特徴を理解し、それぞれの良さや美しさを味わって鑑賞します。	
	1 毎時間の学習内容は、ファイルの学習記録に記録します。 2 授業で配布したプリントをファイルします。 3 鑑賞のレポート、感想文を提出します。			
	<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>1 提出物、学習記録ファイルの記録状況、学習活動への参加の態度、歌唱実技テスト、期末考査などをもとに総合的に評価します。</p> <p>2 学期全体の評価は歌唱実技テストで30%、学習記録ファイル（提出物を含む）で15%、期末考査50%、学習活動への参加の態度で5%の配分で行います。</p>			

第 2 学 期	楽典の理解 ・ 基本の楽典	8	様々な器楽合奏や歌唱演奏を自ら進んで出来る	楽典について、授業中に小テストを行います。 グループを作り演奏の練習をします。 ・ CDを使って鑑賞します。
	器楽 ハンドベルの演奏	9	ように、基本的な楽典を理解します。 ハンドベルを使用して、基本奏法を学習します。 (楽器の扱い方、演奏姿勢)	
	「きらきら星」 「星に願いを」など	10	独奏や合奏をすることにより、器楽表現の楽しさや喜びを感じ取ります。	
	鑑賞		様々な独奏曲の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取り、楽曲の文化的・歴史的背景と関連付け、理解して鑑賞します。	
2	独奏曲の楽しみ ショパンやリストのピアノ曲など	11		
		12		
【課題・提出物等】				
1 毎時間の学習内容は、ファイルの学習記録に記録します。				
2 授業で配布したプリントをファイルします。				
【第2学期の評価方法】				
1 提出物、学習記録ファイルの記録状況、学習活動への参加の態度、歌唱実技テスト、期末考査などをもとに総合的に評価します。				
2 学期全体の評価は歌唱実技テストで35%、学習記録ファイル（提出物を含む）で10%、期末考査50%、学習活動への参加の態度で5%の配分で行います。				
第 3 学 期	歌唱	1	曲想を感じ取り、歌詞、声の音色、歌とピアノ伴奏とのかかわりなどを考え、楽曲にふさわしい表現を工夫して、日本の歌曲を歌います。	
	日本の歌曲を歌おう 「早春賦」 「小さい秋見つけた」 「ふるさと」など	2	声を出すことの喜び、歌うことの楽しさを身に付けると共に発声の基本的な方法（母音唱法、声の支え、レガート唱法等）を学習します。	
	卒業式の歌	3	歌詞を覚えて歌います。	
【課題・提出物等】				
1 毎時間の学習内容は、ファイルの学習記録に記録します。				
2 授業で配布したプリントをファイルします。				
【第3学期の評価方法】				
1 提出物、学習記録ファイルの記録状況、学習活動への参加の態度、期末考査などをもとに総合的に評価します。				
2 学期全体の評価は実技テストで30%、学習記録ファイル（提出物を含む）で10%、期末考査50%、学習活動への参加の態度で10%の配分で行います。				
【年間の学習状況の評価方法】				
下記の4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績及び第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	音楽表現がなんのためにあって、どのように価値あるものかを考えることが本当の芸術の価値に近づくための方法です。そのためには、大きな視野に立って音楽の世界をとらえることが大切です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	授業はチャイムと同時に始まりますので、準備し着席を完了させて下さい。 楽器・楽譜などは常に大切に扱ってください。道具を大切に扱うことが音楽を大切に する態度につながり、自分たちの授業を豊かなものにします。 ファイルはきちんと整理しておきましょう。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 音楽上の幅広いジャンルに対して興味関心を高めているか。 意欲的に楽曲演奏に取り組むと共に、鑑賞教材の視聴などにおける集中力の維持、アンサンブル授業における友人との協調性と積極性等の観点において的確に行動できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏活動への参加の仕方や態度 プリント・レポートの提出状況 学習記録ファイルの記入状況 楽器・楽譜の管理状況 定期考査
芸術的な感受や表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲・音楽ジャンルの特質を良く知覚した上でそれが生み出す曲想や美しさを感じ取って表現の工夫をしているか。 演奏上の課題に直面したときに的確な解決方法を見いだす工夫が出来ているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技テストの内容 プリントの内容
創造的な表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> 楽譜に示された記号や楽語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取って表現する技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出されたプリントの内容 学習記録の記入状況 定期考査
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材の演奏法、楽器の特徴、構造を理解し聴き取っているか。 アンサンブルにおいて、多様なパートが相互関連しあい、音楽の美しさを生み出していることを理解し、聴き取っているか。 音楽の文化的背景を理解し楽曲を聴き取っているか 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 鑑賞レポート・感想文の内容 プリントの内容 学習記録の記入状況 小テスト

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> 評価方法は自己評価（ポートフォリオ）を取り入れ、画一的なものにならないように工夫します。 音楽表現はそこに人と人をつなぐ思いが込められているものです。その思いのメッセージを伝えるためには演奏の実技練習、発表は大変重要な活動となります。また、メッセージを受け取る側としての力を伸ばし、音楽の中に、より豊かな内容を聴き取ることも、この一年間の学習の上で大きな目標となります。
--